

ちびっこ チャンピオン

「大きな栗の木の下で秋の味覚をめしあがれ♡」

青い鳥保育園のなかよしたち

(左上から)

にしざき りょうくん (4さい)
くまがい あかりさん (5さい)
おのおうきくん (5さい)

(左下から)

いちのへ おうがくん (4さい)
のろきょうへいくん (4さい)
さかもとる なさん (3さい)

このコーナーでは、元気いっぱい
な園児達の作品をご紹介します。



深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ



坪根
(風合類) **葵ちゃん**
R元/10/25生
「歌うの大好き♪
我が家のアイドル♪」



成田
(3区) **花楓ちゃん**
R元/10/17生
「元気いっぱい
ひよっくん娘！
妹を可愛がってくれて
ありがとう♡」



大川
(北金2区) **時生くん**
H29/10/29生
「いつも笑顔で
ごようね。」



松沢
(広中) **優季くん**
R元/10/19生
「元気いっぱい
ヤンチャ坊主！
これからも姉弟仲良
く大きくなーれ！」

このコーナーでは
誕生日を迎えたチ
ビッコ達をご紹介します

草創教育長の 「今月の一枚」

公と私

数年前、新幹線の中での出来事です。
いくつか後ろの座席から、若い男が携帯電話で話す耳ざわりな声が聞こえてきます。
「なんぼコスパシネな。メグサミ知らねんな。」とつがる弁で思った矢先、「列車の中で通話しないのが常識だろ！」と標準語で叱る男の太い声。携帯電話を耳に当てながら、顔を真っ赤にしてデッキに逃げる若い男。
大人が大人をガツンと叱る場面は久しぶり。よくやってくれた！でかした！心の中で拍手喝采したのは、きっと私だけではないと思います。新幹線車内は「公(おおよけ)」の場。対して、携帯電話の通話は「私(わたたくし)」こと。明らかに、「私」が「公」の秩序を乱しています。

「公」と「私」の違いを区別できないのは、実は非常に恥ずかしいことです。その分別が、くだんの若者にはすっぽり抜けています。本当に「メグサミ」を知らないのです。
さらに列挙すると、優先席を無視して居る若者、店内を傍若無人に走り回る幼児、車道中央付近を横柄に走るご老人の自転車、犬のフンのほったらかし、もう一つ、女性から
の非難も覚悟で言えば公衆の面前でのお化粧……。
みんなでワッターラど叱って「メグサミ」しかへねばまいね！
またつがる弁で強く思う次第です。
実は、家庭の中にも「公」の場があります。
代表的なのは、食事でしょう。例えば、子どもがめいめいテレビやマンガ本を見たりゲームをしたりしていても、ご飯の準備が整うと、普通はそれをやめて食卓につくはずですが、食事は家族にとって「公」の場、子どもがしていたのは「私」こと。よほどの事がない限り「私」より「公」が優先します。
お手伝いも「公」の場です。一家総出の収穫作業、雪かき、大掃除：などなど。そんな時には、自分がやりたい「私」ことをガマンして「公」の場に向かわなければいけません。
その他にも、来客があったとき、よそ様を訪問するとき、外での買い物や食事など、家庭生活の中にも「公」の場はけっこうあるはずですよ。
「公」と「私」の違いを意識させ、「メグサミ」がわかる子どもに育てなければ、と思います。
(教育長 草創 文人)

